

# 成長を見守り続ける保健室

東山泉小中学校は、東大路通を挟むようにして、西学舎と東学舎が創立されました。1年生から5年生までを『1stステージ』（西学舎）、6年生から9年生までを『2ndステージ』（東学舎）とした、『5-4制施設併用型』の小中一貫校です。今回、児童約434名が学ぶ1stステージ（西学舎）の保健室を訪問しました。



## ◆木のぬくもりと、開放感あふれる校舎◆

高い天井に、木のぬくもりあふれる玄関の先には、ソファと本が並びスペースがあります。子どもたちはここで本を読んだり、くつろいだりできます。

また、玄関先の大きな窓は、校舎の真ん中にある吹き抜けの中庭に繋がっており、太陽の光が注ぎこみ、開放感のある空間です。



英語教材も  
あります♪



## ◆保健室 (Infirmary) では、ネコがお出迎え◆

保健室前の壁には、英語で大きく“Infirmary”と表示されています。

入口のすのこは、表面がふわふわのクッション素材で、子どもたちの足に優しくなっています。

また、入口横には椅子を置き、足をけがしている子どもでも靴を脱ぎ履きしやすいように工夫されています。

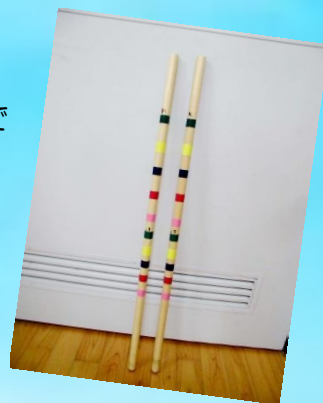
先生はここにいます



## ◆正しい姿勢で学習を！◆

壊れたほうきの持ち手部分を再利用して作られた「机いす高さ調節棒」です。机の種類によって新規格と旧規格がありますが、この棒を活用すると、色に合わせるだけで調節ができるので、とても使いやすいです。

『机といすの高さを合わせることで、集中力がアップした子が増えた！』という担任の先生からの嬉しい声も届きます。



## ◆こんなところにペーパーホルダー！？◆

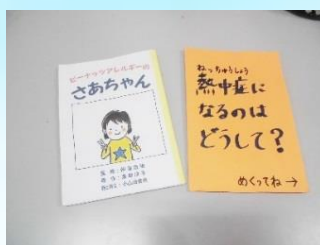
トイレトペーパーが床に落ちていることが多かったので、管理用務員さんが作ってくれました。正しいペーパーの切り方などの指導に活用しています。

## ◆イヌが待っているほっこりスペース◆

保健室の一角にある、パーテーションで囲ってあるスペースには、ピンクのソファにちょこんと座っている犬のぬいぐるみが置いてあり、子どもたちの心を癒してくれます。



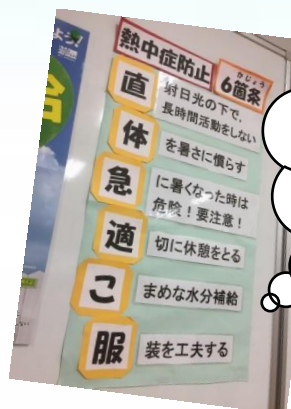
テーブルには、プロジェクトフォルダからダウンロードした保健資料を置いています。子どもたちは、いつでも手に取って見ることができます。



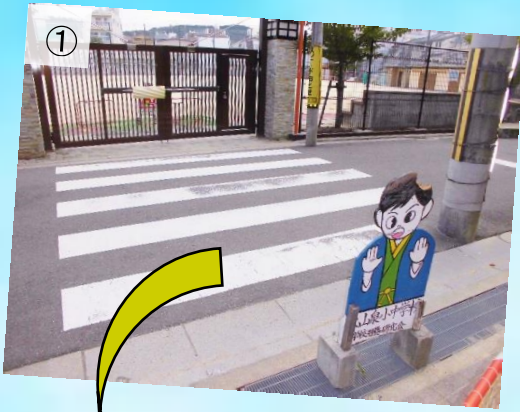
ベッドではぬいぐるみが一緒に寝てくれます。



身体計測時のミニ保健指導とリンクさせた掲示物。



## ◆子どもたちの安心安全のために◆



西学舎の運動場は、横断歩道を渡ったところにあります（写真①）。運動場へ行く子どもたちの安全ため、休み時間になると、横断歩道で教職員が見守ります。

保健室には、廊下側と運動場側に入口があります。



運動場でけがをした子どもたちは、運動場側の入口横にある足洗い場（写真②）で傷口を洗ってから来室します（写真③）。



廊下側の入口（写真④）近くにも、手洗い場、足洗い場、汚物槽（写真⑤）があり、子どもたちのけがに素早く対応できる配置になっています。



保健室の設備や配置をうまく活かした保健室経営をされています。

## ◆ほっこりできる温かい雰囲気のある保健室◆

西学舎には、授業、学校行事、フレンドリー遊び（1st・2ndステージの合同遊び）などで、2ndステージへ巣立った子どもたちも頻りに訪れます。子どもたちは、保健室にも訪れ、西学舎での懐かしい日々を思い返して、楽しい時間を過ごすこともあります。

西学舎と東学舎の養護教諭が細かく連携し、9年間の子どもの成長を温かく見守り続けることで、子どもたちは安心して過ごせているのではないかと感じられる保健室でした。